



# 校長室の窓から

《校長だより》

神奈川県立市ケ尾高等学校

校長 増淵 広美

平成 28 年 6 月 15 日

第 14 号

## ◆ 生徒会本部が始動！ ～生徒会飛躍の年～

5月10日(火)の生徒会役員選挙、5月26日(木)の生徒総会を経て、いよいよ新しい生徒会本部が始動しました。これまで生徒会を支えてくれた前役員の皆さん、ありがとうございました。

今年は、生徒皆で共有できる生徒会のスローガンを考えてもらいました。そして、掲げられたスローガンは、「生徒会維新」。

生徒会本部の在り方については、昨年度から前役員の皆さんが課題意識を持ち、生徒会本部、各行事の実行委員会、COREの位置づけについて、その整理を考えてきました。

これまで、本校の生徒会行事は、各実行委員会や CORE と呼ばれる有志が、自主・自律の精神のもと、前年度の行事が終わるとすぐに次年度に向けて準備を進め、各担当のノウハウは先輩から後輩に、実に丁寧かつ綿密に引き継がれてきました。しかし、全体を俯瞰してみると、各担当の活動がそれぞれ活発な反面、連携が十分でない面があり、生徒会行事における生徒会本部の位置づけも明確ではありませんでした。

### ◆◆ 課題意識が「変革」を生む！

本校の生徒会行事は、どの行事も生徒の主体的な取組により成功を収め、行事の内容も年々充実してきています。しかし、それに甘んじることなく、よりよき生徒会活動を目指そうとする姿勢は、さすが市高生！先日、田辺さんに新生徒会長としての抱負を聞きました。今年度は、多くの意見を共有するために生徒会本部が CORE や委員会との会議を開いたり、担当の先生とのランチミーティングを定期的に行ったりすることを計画しているとのこと。また、多くの生徒の意見や要望を生徒会活動や学校生活に反映させるために、目安箱を設置したいとも語っていました。課題意識がさらなる充実、さらなる成功を生み出します。

今回、会長となった田辺さんは、昨年度は生徒会書記を務め、前生徒会本部の課題意識を引き継ぎ、その改善に向けた強い意志を持って会長に立候補しています。生徒会本部を中心に市高生全員で新たな生徒会の在り方を共有し、今年度が、市高生徒会の飛躍の年になることを心から期待しています。

### ◆◆ 新しい生徒会にふさわしい生徒会役員選挙を！

「新しく生まれ変わる生徒会にふさわしい生徒会役員選挙を行いたい」——これは、今年度の選挙管理委員長、北山理史さんの言葉です。私は、生徒会選挙に先駆けて委員長の北山さん、副委員長の木下さんと懇談し、直接、その熱い思いを聞きました。その言葉どおり、今回の生徒会役員選挙は、選挙管理委員会の皆さんが一丸となって、本物の選挙にできるだけ近い形での選挙を目指しました。公示、立会演説会から始まり、投票そのものも、整理券と生徒手帳を提示して投票用紙をもらい、記載台と投票箱は、何と！青葉区役所から本物を借用。また、北山さんは、今年はいよいよ「18歳選挙権」によるはじめての選挙の年なので、生徒会選挙をきっかけに高校生が選挙に関心を持ち、選挙権を投票につなげてほしいとも語っています。

これまでの教室での投票からの大きな転換。手間もかかるし、投票率というリスクを負いながらも果敢に挑戦し、やりきったことは大きな自信になったことと思います。100%を目指した投票率は、信任投票ということもあってか約 75%に留まりましたが、すでに選挙管理委員会では反省会を行って残り 25%の状況を分析し、次回に向けて改善策も考えています。それは、まずは、科目『現代社会』(3学年)における政治参加教育の一環として、7月4日(月)に実施する模擬投票において生かされます。

### ■ 生徒会長からのメッセージ ■

このたび、生徒会長になりました田辺陽菜です。今年度は「生徒会維新」というスローガンを掲げ、今までよりさらに進化したものにします。

昨年までは、CORE や委員会ごとで仕事をしてきたため、生徒や先生との連携がうまくできていませんでした。

しかし、今年度から、本部役員が先生や生徒の“かけはし”となり、多くの生徒と先生が仕事に関わり理解を深め、意見を共有できるようにします。すばり、私たち本部役員の使命は、市高生の願いや先生方の要望を実現させることです。

何かあれば本部役員へ声をかけてください。市高生の皆さん、力を合わせて「市高最高」を創り上げましょう！

### 〈スローガン〉 生徒会維新

「維新」ということばには「変革」という意味があります。今までの生徒会は独立していましたが、今年度からは生徒同士や先生と携わり多くの意見や考えを共有できる体制に変え、生徒会がみんなをつなぐかけはしとなりたい！そんな思いを“維新”という言葉で表現しました。



### ■ 立会演説会

候補者の名前等は書道部の部員が書いてくれました。



### ■ 投票 受付

投票は、学年別に3カ所で行います。



### ■ 投票用紙に記入して、さあ投票！

記載台、投票箱は青葉区役所からお借りしました。

## 芸術鑑賞会 演劇公演「エディ」に寄せて

5月31日(火)相模女子大学グリーンホールにて芸術鑑賞会を行いました。今年度は演劇の年で、6人の世界チャンピオンを育てた伝説のボクシングトレーナー、エディ・タウンゼントを描いた「エディ」(劇団イング)を鑑賞しました。

世界チャンピオン井岡と名トレーナーエディとのボクシングを軸に、エディと井岡に周囲の登場人物が相まって、夢、挫折、友情、人間愛が紡ぎ出され、とても感動的な作品でした。本当の厳しさ、本当の優しさ……。エディは、常に全身全霊、深い愛情をもって選手を育て、「ハートのラブ……ボクは、ハートのラブで教えるの」と自ら語っています。ハートのラブが人を育て、人と人をつなぎます。素直に感動している生徒の様子や終演後の多くの感動の声に、芸術鑑賞会の大切さを感じました。

### ◆◆ 一人ひとりが主人公

これは、今回の芸術鑑賞会の作品選びから当日まで、企画運営、実務を担当してくれた先生の鑑賞直後のひと言ですが、とても強く心に残っています。

エディや世界チャンピオン井岡の周囲には、試合に負けて自らの屈辱と葛藤している者、明日のチャンピオンを夢見る練習生、エディに次のチャンピオンと期待されながらも、家業を継がざるを得ず、悩み苦しんだ末にボクシングを辞めることを決意する者、エディを支える妻等々、自分の生を精一杯生きている人たちがいます。

まさに人生は、一人ひとりが主人公。自分の人生に最後まで責任を持てるのは自分だけ。そして、自分の人生を豊かで幸せにできる鍵を握るのも自分です。だからこそ、かけがえのない自分を知り、自分のすごさ(潜在的な能力、可能性)に気づき、「なりたい自分」になって、自分の人生を生き活きと生きてくれることを願っています。

### ◆◆ 「世界チャンピオンになれる、なれないは、どれくらいの差があるの？」

この質問に対するエディさんの答えは、親指と人差し指で数センチを作って「これだけよ。本当にこれだけの差よ。」(監修:百合子・タウンゼント、写真:高橋和幸『オーケー!ボーイ〜エディさんからの伝言〜』より)。違いはほんの数センチ。そして、誰にでも可能性があるということ。「もうだめだ」と諦めるか、「あと少し!」と思っ

### ..... 試合の応援に行ってきました .....



■男子バレー部  
4/29(金)関東大会横浜地区予選(VS横浜桜陽)。この試合に勝ってブロック優勝。県大会出場。



■女子バスケット部  
5/1(日)関東大会県予選準々決勝(VS逗葉)。準決勝に進出。5/3(火)準決勝(VS横須賀大津)も勝ち上がり、決勝で旭高と対戦。健闘の末、準優勝。関東大会進出。



(VS逗葉)



(VS横須賀大津)

■サッカー部  
5/5(木)関東大会県大会2次予選。(VS市立橘)。力が拮抗。どちらも譲らずPK戦へ。PK戦は4:5で惜敗。

■男子バスケット部  
5/29(日)高校総体県予選(VS大船)。59:42で2回戦へ。2回戦(VS逗葉)は惜敗。県ベスト24。

**祝** ☆~関東大会出場!~☆

- 女子バスケットボール部:6/4(土)~5(日)
- 陸上部(女子1600mリレー):6/19(日)~20(月)



■ソフトボール部  
5/29(日)高校総体県予選(VS平塚商業)。2回戦進出ならず残念。最後まで力闘。



■女子バスケット部  
6/4(土)関東大会1回戦(VS八雲学園)。さすが第1シードの強豪!カー杯闘い、負けてもさわやか。次へのステップ。

## 《市高の活動紹介》



### ■美しい花壇は一日にしてならず

5/15(土):PTA環境委員の皆さんによる花壇整備とクリーン活動。



### ■護岸堤がパッと明るくなりました

6/4(土):今年も本校有志生徒が、学校裏を流れる谷本川護岸堤の花植えに参加。中学生や地域の方とともに花苗を植えました。

## 将来教員になりたいあなたへ 「高校生のための教職セミナー」

神奈川県では、教員を志望する高校生に対し、キャリア教育の一環として、「高校生のための教職セミナー」(無料。1日から可)を実施します。日程等は次のとおりです。(申込は、担任まで)

- ① 8/26(金) PM or 28日(日) AM: 教員になるためには
- ② 9/11(日) PM: コミュニケーション能力の育成
- ③ 10/2(日) PM: 授業づくりを学ぶ①
- ④ 10/16(日) PM: インクルーシブ教育
- ⑤ 10/30(日) PM: 仲間づくり・集団づくり
- ⑥ 11/13(日) PM: 子どもを守る
- ⑦ 12/11(日) AM: 授業づくりを学ぶ②
- ⑧ 1/15(日) PM: 教員という仕事の魅力と責任

【申込期間】平成28年6月16日(木)~6月30日(木)(応募者多数の場合は抽選) ※校内締切:6月28日(火)